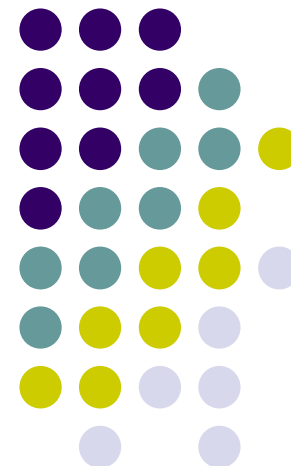




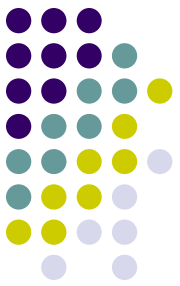
銀行とりひき相談所受付状況 (2024年7月)

2024年8月



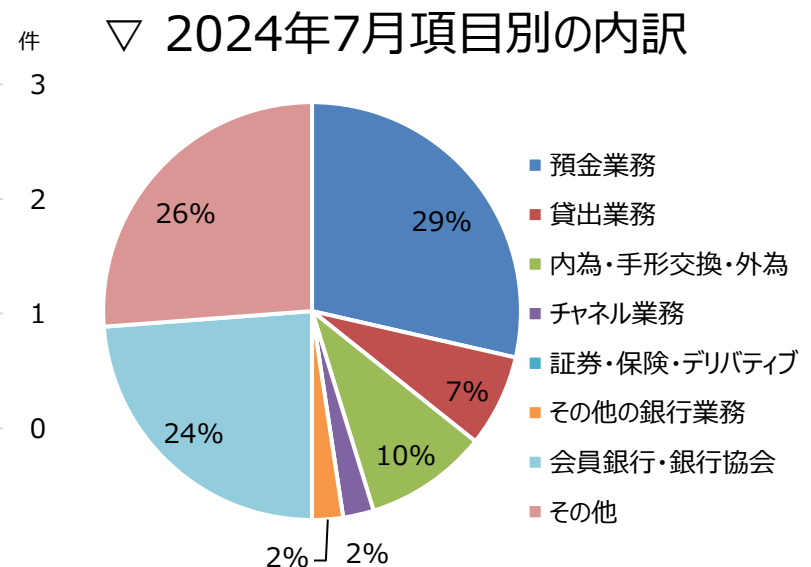
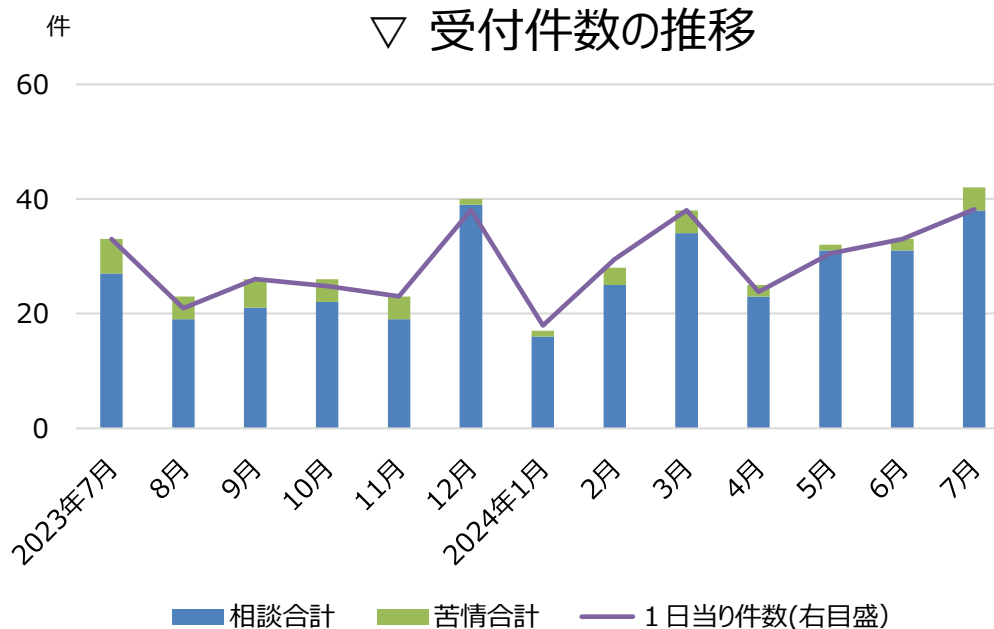
一般社団法人 大阪銀行協会

Osaka Bankers Association



1. 受付件数の状況

- 銀行とりひき相談所における2024年7月の受付件数は42件となり、前年同月比、前月比とも+9件と増加したものの、1営業日当たりでは1.9件と引き続き2件未満の低い水準が続いている。
 - 1営業日当たり2件未満は14か月連続。
- 受付項目別では、「預金業務」が12件（構成比29%）と最も多く、次いで「その他」が11件（同26%）、「会員銀行・銀行協会」が10件（同24%）となった。
- この間、住宅ローンやカードローン等の返済に問題を抱えている消費者を対象としたカウンセリングサービスの利用は1件のみ。

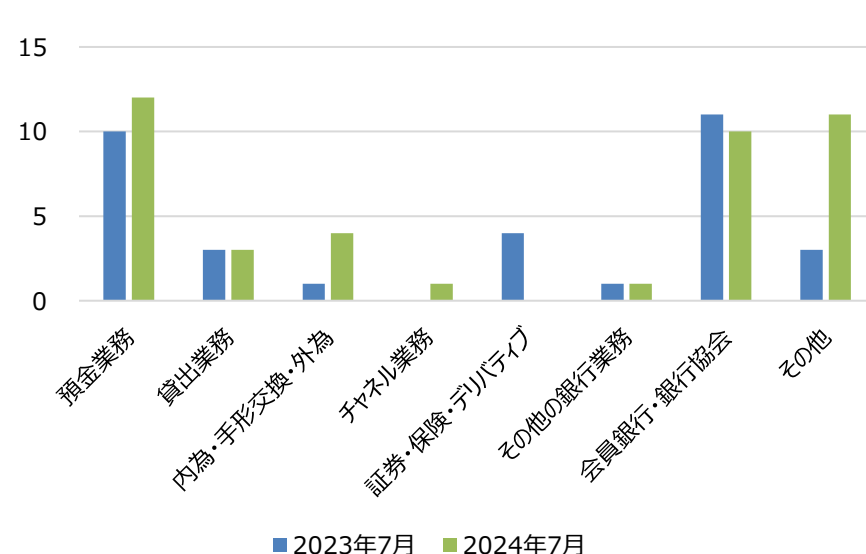




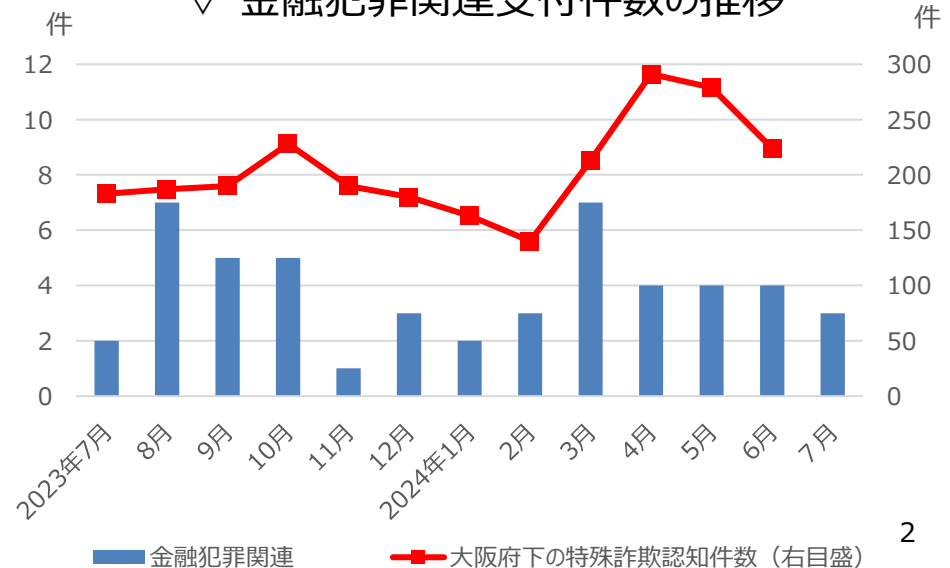
2. 2024年7月の特徴

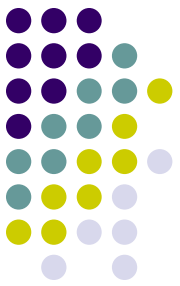
- 前年同月比の動向を項目別にみると、「証券・保険・デリバティブ」が▲4件の減少となる一方、「その他」は+8件と大幅に増加。
 - ― このうち、「証券・保険・デリバティブ」の減少は、前年同月に一部地方銀行に対する行政処分勧告の報道を受け、同様の取引事象に関する相談がみられた裏が出たことが主因。
 - ― 一方、「その他」の増加は、会員銀行以外の金融機関に関する相談が前年同月比+6件と大きく増加したことや、同項目に内包する「金融犯罪関連」に関する照会が同+1件の増加となったことなどが要因。
- この間、項目別に最も多かった「預金業務」では、預金の相続手続き関連の照会が5件となったほか、金利環境が変化するもとで、定期預金の優遇金利等のキャンペーンを実施する複数の金融機関が預金保険制度の対象先か否かとの照会が4件に上ったことが特徴点として挙げられる。

▽ 項目別の前年同月比較



▽ 金融犯罪関連受付件数の推移

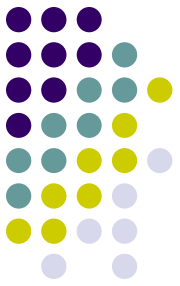




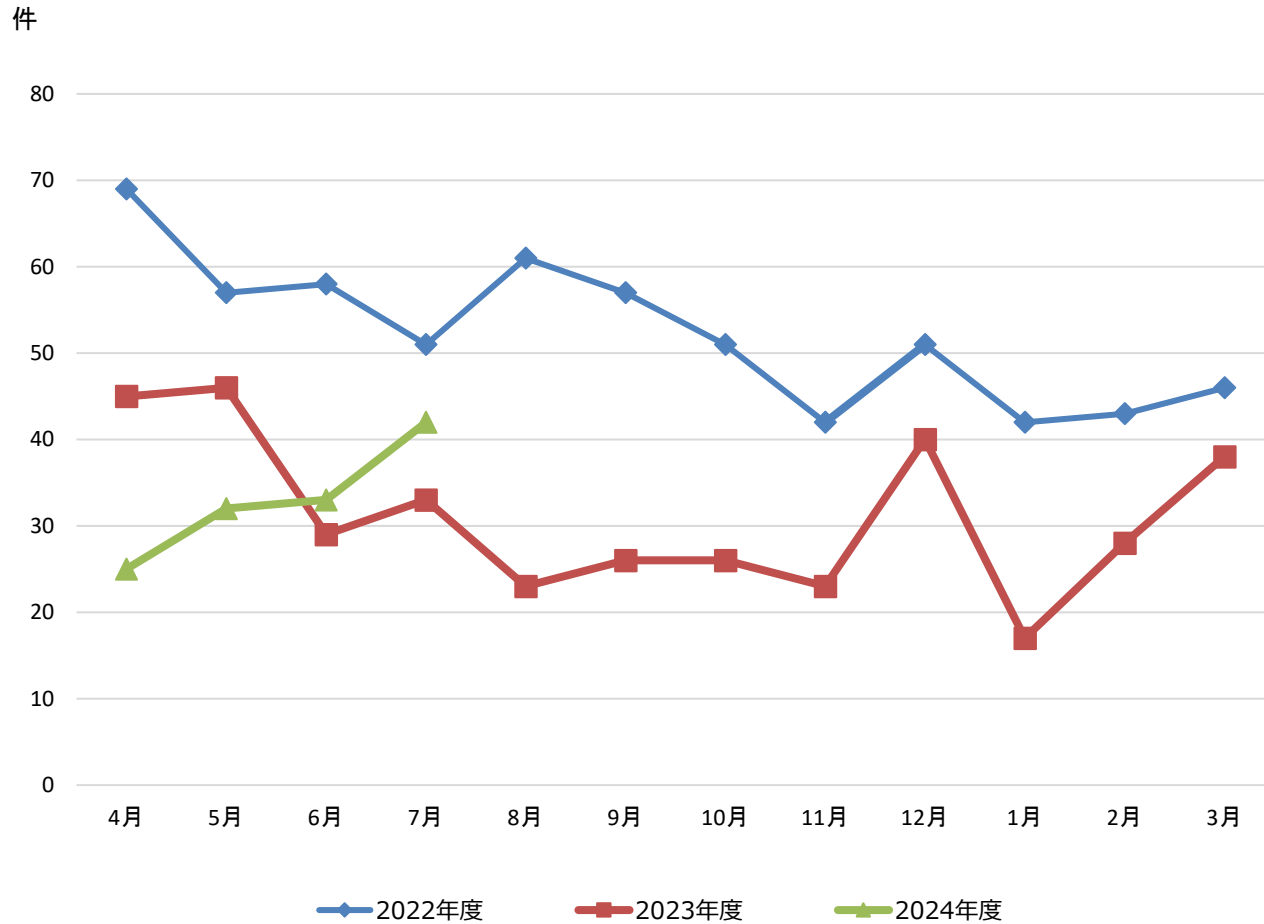
(参考 1) 銀行とりひき相談所受付件数 (2024年7月)

(単位：件)

項 目	① 相 談 ・ 照 会			② 苦 情		
		前月比	前年同月比		前月比	前年同月比
預金業務	10	▲ 2	0	2	1	2
(内信用不安)	4	3	3	0	0	0
貸出業務	3	2	1	0	▲ 1	▲ 1
貸出全般	0	0	0	0	0	0
消費者ローン	1	0	1	0	0	0
事業資金	1	1	1	0	0	0
住宅ローン	1	1	▲ 1	0	▲ 1	0
アパートローン	0	0	0	0	0	▲ 1
その他	0	0	0	0	0	0
内国為替業務	2	1	2	0	0	0
手形交換	1	1	1	0	0	▲ 1
外国為替業務	1	1	1	0	0	0
チャネル業務	0	▲ 2	0	1	1	1
証券業務	0	0	▲ 2	0	0	▲ 1
保険業務	0	0	▲ 1	0	0	0
デリバティブ業務	0	0	0	0	0	0
その他の銀行業務	1	0	1	0	0	▲ 1
会員銀行	5	2	4	0	0	▲ 1
銀行協会	5	4	▲ 4	0	0	0
その他	10	0	8	1	1	0
(内金融犯罪関連)	3	▲ 1	1	0	0	0
小 計	38	7	11	4	2	▲ 2
合 計 (①+②)				42	9	9



(参考2) 月別受付件数の推移





銀行との取引について知りたいこと・お困りのこと
「銀行とりひき相談所」へお電話ください。

銀行とりひき相談所
06-6867-9547

- ✓ 本資料の内容について、商用目的での転載・複製を行う場合は予め大阪銀行協会までご相談ください。転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。
- ✓ 本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、大阪銀行協会は、利用者が本資料の情報をを用いて行う一切の行為について、何ら責任を負うものではありません。